

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕(連結)



平成25年7月30日  
上場取引所 東 名

上場会社名 富士フイルムホールディングス株式会社

コード番号 4901 URL <http://www.fujifilmholdings.com/>

代表者 代表取締役社長 中嶋 成博

問合せ先責任者 経営企画部 コーポレートコミュニケーション室長 岡田 淳二 TEL (03)6271-1111

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税金等調整前 四半期純利益		当社株主帰属 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	568,742	9.7	25,118	19.9	30,307	127.0	14,950	497.0
25年3月期第1四半期	518,340	△ 2.2	20,944	△ 27.8	13,352	△ 52.5	2,504	△ 82.7

	1株当たり当社株主 帰属四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当社株主 帰属四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	31 03	30 95
25年3月期第1四半期	5 20	5 14

(注) 四半期包括利益(△損失) 26年3月期第1四半期 56,690 百万円 ( - %) 25年3月期第1四半期 △ 26,354 百万円 ( - %)

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計 (純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,112,734	2,078,404	1,920,476	61.7
25年3月期	3,059,596	2,024,786	1,868,870	61.1

(注) 資本合計(純資産)は、P.8の連結貸借対照表の純資産合計を読み替えております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	20 00	-	20 00	40 00
26年3月期	-				
26年3月期(予想)		20 00	-	20 00	40 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税金等調整前 当期純利益		当社株主帰属 当期純利益		1株当たり当社 株主帰属 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	2,350,000	6.1	140,000	22.7	140,000	17.5	70,000	29.0	145 27	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

(注) 第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

4. その他（詳細は、添付資料P.5「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。）

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更：無
- ② ①以外の変更：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	514,625,728 株	25年3月期	514,625,728 株
26年3月期1Q	32,746,609 株	25年3月期	32,766,340 株
26年3月期1Q	481,866,260 株	25年3月期1Q	481,707,438 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

## [目次]

1.	当四半期決算に関する定性的情報		
	(1) 連結経営成績に関する説明	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 2
	(2) 連結財政状態に関する説明	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 5
	(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 5
2.	サマリー情報（その他）に関する事項		
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 6
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 6
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 6
3.	継続企業の前提に関する重要事象等の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 6
4.	四半期連結財務諸表		
	(1) 四半期連結貸借対照表	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 7
	(2) 四半期連結損益計算書	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 9
	(3) 四半期連結包括利益計算書	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 10
	(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 11
	(5) 四半期連結財務諸表に関する注意事項		
	(継続企業の前提に関する注記)	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 12
	(セグメント情報)	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 12
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

(単位：億円)

	平成 26 年 3 月期 第 1 四半期		平成 25 年 3 月期 第 1 四半期		増減額	増減率
国内売上高	41.1%	2,338	44.1%	2,284	54	2.4%
海外売上高	58.9%	3,349	55.9%	2,899	450	15.5%
売上高	100.0%	5,687	100.0%	5,183	504	9.7%
営業利益	4.4%	251	4.0%	209	42	19.9%
営業外収益及び費用	0.9%	52	△1.4%	△75	127	-
税金等調整前四半期純利益	5.3%	303	2.6%	134	169	127.0%
当社株主帰属四半期純利益	2.6%	150	0.5%	25	125	497.0%
為替レート (円/米\$)		99		80	19	
為替レート (円/Euro)		129		103	26	

平成 26 年 3 月期第 1 四半期（平成 25 年 4 月 1 日～6 月 30 日）の世界経済を概観すると、米国景気は振れを伴いながらも緩やかに回復している一方、欧州は債務問題を反映してマイナス成長が継続するなど弱い動きとなっています。新興国では、成長率の鈍化に歯止めがかかってきた中国と、その他の新興国との間では成長率の格差が見られます。日本においては、アベノミクスによる金融政策・財政政策・成長戦略などを背景に、景気回復基調が明確になりました。

当社グループは引き続き、中期経営計画「VISION80」（平成 26 年 3 月期が最終年）にて掲げた通り、成長性が高く当社グループの技術力を存分に発揮できる「ヘルスケア」「高機能材料」「ドキュメント」の事業分野と、成長が続く新興国を中心とするグローバル展開に経営資源を集中投入し、スピードとダイナミズムをもって事業展開に取り組んでおり、新たな成長を実現するための基盤が整いつつあります。

当社グループの平成 26 年 3 月期第 1 四半期における連結売上高は、5,687 億円（前年同期比 9.7% 増）となりました。コンパクトデジタルカメラの需要減少に伴いデジタルカメラの販売は厳しい状況であったものの、メディカルシステム事業、フラットパネルディスプレイ材料事業、ドキュメント事業などの売上が好調に推移したことや、為替の円安が寄与した結果、前年同期比で 504 億円の増収となりました。

営業利益は、売上高の増加に加え、為替の円安効果などにより、251 億円（前年同期比 19.9% 増）となりました。加えて、為替差損益が改善したことなどにより、税金等調整前四半期純利益は 303 億円、当社株主帰属四半期純利益は 150 億円と大幅に増加しました。

当四半期の円為替レートは、対米ドルで 99 円、対ユーロで 129 円となりました。

## 【事業セグメント別の売上高】

(単位：億円)

セグメント	平成 26 年 3 月期 第 1 四半期	平成 25 年 3 月期 第 1 四半期	増減額	増減率
イメージング ソリューション	860	852	8	0.9%
インフォメーション ソリューション	2,174	1,902	272	14.3%
ドキュメント ソリューション	2,653	2,429	224	9.2%
連結合計	5,687	5,183	504	9.7%

## 【事業セグメント別の営業利益 (△損失)】

(単位：億円)

セグメント	平成 26 年 3 月期 第 1 四半期	平成 25 年 3 月期 第 1 四半期	増減額	増減率
イメージング ソリューション	△9	25	△34	-
インフォメーション ソリューション	115	73	42	56.7%
ドキュメント ソリューション	217	191	26	13.5%
全社費用及び セグメント間取引消去	△72	△80	8	-
連結合計	251	209	42	19.9%

## 「イメージング ソリューション部門」

イメージング ソリューション部門の連結売上高は、スマートフォン用カメラモジュールの拡販が全体を牽引したことなどにより、860 億円（前年同期比 0.9%増）と増収を確保しました。

当部門の営業損失は、電子映像分野での収益低下の影響などにより、9 億円となりました。

フォトイメージング事業では、「instax mini 8『チェキ』」を始めとしたインスタントカメラの販売が好調に推移したことや、平成 25 年 3 月にサービスを開始した「Year Album」などの付加価値プリントビジネスが拡大し、事業トータルでは売上が増加しました。

平成25年6月から事業統合した光学・電子映像事業では、コンパクトデジタルカメラの売上が減少したものの、スマートフォン用カメラモジュールの販売が好調だったことにより、売上が増加しました。

電子映像分野では、プレミアムコンパクトデジタルカメラ「FUJIFILM X100S」や「FUJIFILM X20」などの販売が好調に推移したものの、スマートフォンの急激な普及によるコンパクトデジタルカメラの需要減少などの影響を受けて売上が減少しました。今後も独自技術を活かした高級機種「Xシリーズ」やレンズ交換式システム「XFレンズシリーズ」のラインアップを拡充し、伸張するレンズ交換式カメラ市場を中心に、これらの販売を強化していきます。

光学デバイス分野では、スマートフォン用カメラモジュールの販売が大幅に増加したことに加え、テレビカメラ用レンズの販売も好調に推移したことなどにより売上が増加しました。

## 「インフォメーション ソリューション部門」

インフォメーション ソリューション部門の連結売上高は、メディカルシステム事業とグラフィックシステム事業の売上高が好調に推移したことなどにより、2,174 億円（前年同期比 14.3%増）となりました。

当部門の営業利益は、フラットパネルディスプレイ材料事業の売上が好調であったことなどにより、115 億円（前年同期比 56.7%増）となりました。

メディカルシステム事業では、X 線画像診断装置、医用画像情報システム、内視鏡などの販売が好調に推移したことや、為替の円安などにより、売上が大幅に増加しました。

モダリティ分野では、低価格・小型デジタル X 線画像診断装置「FCR PRIMA」シリーズの販売が海外を中心に、DR 方式・カセット型デジタル X 線画像診断装置「CALNEO」シリーズの販売が国内を中心に堅調に推移しました。

内視鏡分野では、高画質経鼻内視鏡、新世代内視鏡システム「LASEREO」などの販売が堅調に推移したことなどにより、売上が増加しました。

医療IT分野では、医用画像情報システム(PACS)を中心に診療情報分野への事業拡大を進めており、売上が大幅に増加しました。国内では、当社グループのPACS「SYNAPSE」は引き続きトップシェアを維持しています。

医薬品事業では、富山化学工業株式会社のβ-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤「ゾシン」の販売が好調だったこと、バイオ医薬品受託製造を担うFUJIFILM Diosynth Biotechnologies U.S.A., Inc.とFUJIFILM Diosynth Biotechnologies UK Limitedの売上が伸長したこと、及び富士フイルムファーマ株式会社において平成24年9月に開始したバイエル薬品株式会社の先発薬の販売が堅調に推移したことなどにより、売上が増加しました。

平成25年5月には、抗がん剤「FF-10501」の再発・難治性骨髄異形成症候群(MDS)を対象とする国内第I相臨床試験を開始しました。また、テラーメイド型がんペプチドワクチン「ITK-1」の前立腺がん患者を対象とする国内第III相臨床試験の治験届を提出するなど、着実にパイプラインの開発を推進しています。

ライフサイエンス事業では、機能性化粧品「アスタリフト」シリーズ、平成25年3月に発売した新・美白スキンケアシリーズ「アスタリフトホワイト」などの国内販売が好調に推移したことなどにより、売上が増加しました。

グラフィックシステム事業では、CTPプレートにおいて国内での着実な切替活動や北米における大手先の切替などにより販売数量が増加しました。また、デジタルプリンティング機器の販売が好調に推移したことや、為替の円安も追い風となり、売上が増加しました。今後は新興国等を対象に、拡販体制・技術サポート体制の強化を図り、刷版事業、デジタルプリンティング事業を中心に売上、シェア拡大を図ります。

フラットパネルディスプレイ材料事業では、「WVフィルム」はIT機器の需要低迷の影響を受けたことにより販売が減少したものの、北米や中国でテレビの販売が好調だったことなどにより、「フジタック」や「VA用フィルム」、「IPS用フィルム」の販売が大幅に増加し、事業全体としては売上が増加しました。需要が急拡大するタブレットPCやスマートフォン向けを中心にフィルムの薄膜化による製品ラインアップの拡充を図っています。

産業機材事業では、工業用X線フィルムの販売が好調に推移したことに加え、平成25年3月期に出荷を開始した太陽電池用バックシートや、タッチパネル用センサーフィルム「エクスクリア」の売上も堅調に推移したことなどにより、売上が大幅に増加しました。今後も成長が見込まれる環境・エネルギー分野やタッチパネル分野での売上拡大を目指します。

電子材料事業では、ArF液浸レジスト、CMPスラリー、イメージセンサー用カラーモザイクなど韓国・台湾向け先端製品の販売が好調に推移し、売上が増加しました。

記録メディア事業では、「BaFe(バリウムフェライト)磁性体」を採用した「FUJIFILM LTO Ultrium 6 データカートリッジ」などの販売が堅調に推移したことや、為替の円安などにより、売上が増加しました。今後も独自の技術により磁気テープの高容量化を進め、データアーカイブ分野での売上拡大を目指して行きます。

#### 「ドキュメント ソリューション部門」

ドキュメントソリューション部門の売上高は、アジア・オセアニア地域の売上増および為替の円安効果などにより、2,653億円(前年同期比9.2%増)となりました。

当部門の営業利益は、販売単価の下落などによるマイナスインパクトがあったものの、アジア・オセアニア地域で増益となったほか、製造原価改善および経費効率化も寄与し、217億円(前年同期比13.5%増)となりました。

オフィスプロダクト事業は、国内において、カラー複合機の販売台数は対前年で増加しましたが、モノクロ複合機の販売台数は昨年大型商談の反動により減少しました。消耗品及び保守サービス売上は、市場稼働台数の増加、台あたりコピー枚数の増加はあったものの、コピー1枚あたりの単価下

落影響により減収となりました。アジア・オセアニア地域においては、平成25年5月に発売した新商品「DocuCentre S2220/S2420」を含むモノクロ複合機の販売台数が大幅に増加するとともに、カラー複合機の販売台数も増加しました。米国ゼロックス社向け輸出においては、カラー複合機の新商品が好調に推移し、モノクロ複合機とともに販売台数が増加しました。

オフィスプリンター事業は、国内においては、モノクロ機、カラー機ともに販売台数が減少しました。アジア・オセアニア地域および米国ゼロックス社向け輸出においては、カラー機の販売台数が増加した一方で、モノクロ機では減少しました。

プロダクションサービス事業は、国内においては、モノクロプロダクションプリンター、カラー・オンデマンド・パブリッシング・システムの販売台数が対前年で増加したものの、基幹業務向け中・小型プリンターが減少し、トータルでは前年並みとなりました。アジア・オセアニア地域においては、「iGen」シリーズをはじめとするカラー・オンデマンド・パブリッシング・システムの販売が増加しましたが、他の機種では減少し、トータルの販売台数は減少しました。米国ゼロックス社向け輸出においては、カラー・オンデマンド・パブリッシング・システムの新商品の販売が好調に推移し、トータルでも販売台数が増加しました。

グローバルサービス事業は、国内においてはマネージド・プリント・サービス(MPS)が伸長し対前年で増収となりました。また、アジア・オセアニア地域においても2桁成長となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

平成26年3月期第1四半期末は、主に現金及び現金同等物の増加などにより、前期末(平成25年3月31日)に比べ、資産合計が531億円増の3兆1,127億円(前期末比1.7%増)となりました。負債は5億円減の1兆343億円(前期末比0.0%減)となりました。株主資本は、516億円増の1兆9,205億円(前期末比2.8%増)となりました。この結果、流動比率は、前期末に比べ6.5ポイント増の292.3%、負債比率は1.5ポイント減の53.9%、株主資本比率は0.6ポイント増の61.7%となり、資産の流動性及び資本構成の安定性をともに維持しております。

### 【キャッシュ・フローの状況】

(単位：億円)

	平成26年3月期 第1四半期	平成25年3月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	917	695	222
投資活動によるキャッシュ・フロー	△313	△330	17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△120	△60	△60

平成26年3月期第1四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは、当四半期純利益の増加などにより、917億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の購入などにより、313億円の支出となりました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、604億円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより、120億円の支出となりました。

現金及び現金同等物の平成26年3月期第1四半期末残高は、前期末(平成25年3月31日)に比べ553億円増加し、5,007億円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明

平成26年3月期は、為替が前期比で円安傾向になると予想されることや、当社グループの重点事業において利益改善を実現していくことなどにより、増収増益を見込んでいます。

平成26年3月期業績は、連結売上高は2兆3,500億円(前年同期比6.1%増)、営業利益は1,400億円(前年同期比22.7%増)、税金等調整前当期純利益は1,400億円(前年同期比17.5%増)、当社株主帰属当期純利益は700億円(前年同期比29.0%増)と、当初予想値を据え置きました。

為替レートは、対米ドル円為替レートを95円(前年同期比12円安)、対ユーロ円為替レートを125円(前年同期比18円安)で想定しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

単位 百万円

科目	期別	平成26年3月期第1四半期 連結会計期間末 平成25年6月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成25年3月31日現在	増減 (△は減少)
[資産の部]				
流動資産				
現金及び現金同等物		500,701	445,394	55,307
有価証券		3,637	3,653	△ 16
受取債権				
営業債権及びリース債権		543,290	576,109	△ 32,819
関連会社等に対する債権		30,849	33,709	△ 2,860
貸倒引当金		△ 20,716	△ 20,943	227
		553,423	588,875	△ 35,452
棚卸資産		419,184	399,929	19,255
前払費用及びその他の流動資産		137,785	123,436	14,349
流動資産 合計		1,614,730	1,561,287	53,443
投資及び長期債権				
関連会社等に対する投資及び貸付金		42,242	40,866	1,376
投資有価証券		143,566	134,620	8,946
長期リース債権及びその他の長期債権		155,767	156,165	△ 398
貸倒引当金		△ 9,638	△ 9,588	△ 50
投資及び長期債権 合計		331,937	322,063	9,874
有形固定資産				
土地		92,847	92,539	308
建物及び構築物		694,031	684,417	9,614
機械装置及びその他の有形固定資産		1,665,764	1,638,122	27,642
建設仮勘定		20,713	27,887	△ 7,174
		2,473,355	2,442,965	30,390
減価償却累計額		△ 1,930,347	△ 1,896,833	△ 33,514
有形固定資産 合計		543,008	546,132	△ 3,124
その他の資産				
営業権		414,561	412,247	2,314
その他の無形固定資産		90,190	90,239	△ 49
その他		118,308	127,628	△ 9,320
その他の資産 合計		623,059	630,114	△ 7,055
資産 合計		3,112,734	3,059,596	53,138

単位 百万円

科目	期別	平成26年3月期第1四半期 連結会計期間末 平成25年6月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成25年3月31日現在	増減 (△は減少)
[負債の部]				
流動負債				
社債及び短期借入金		39,580	40,680	△ 1,100
支払債務				
営業債務		227,713	227,048	665
設備関係債務		14,670	20,760	△ 6,090
関連会社等に対する債務		2,996	3,235	△ 239
		245,379	251,043	△ 5,664
未払法人税等		11,397	12,850	△ 1,453
未払費用		192,579	175,708	16,871
その他の流動負債		63,546	66,083	△ 2,537
流動負債 合計		552,481	546,364	6,117
固定負債				
社債及び長期借入金		319,038	317,592	1,446
退職給付引当金		79,834	80,997	△ 1,163
預り保証金及びその他の固定負債		82,977	89,857	△ 6,880
固定負債 合計		481,849	488,446	△ 6,597
負債 合計		1,034,330	1,034,810	△ 480
[純資産の部]				
株主資本				
資本金		40,363	40,363	-
普通株式				
発行可能株式総数 800,000,000株				
発行済株式総数 514,625,728株				
資本剰余金		75,326	75,226	100
利益剰余金		1,994,502	1,979,552	14,950
その他の包括利益(△損失)累積額		△ 87,732	△ 124,225	36,493
自己株式		△ 101,983	△ 102,046	63
株主資本 合計		1,920,476	1,868,870	51,606
非支配持分		157,928	155,916	2,012
純資産 合計		2,078,404	2,024,786	53,618
負債・純資産 合計		3,112,734	3,059,596	53,138

(注)その他の包括利益(△損失)累積額 内訳

	平成25年6月30日現在	平成25年3月31日現在	増減 (△は減少)
有価証券未実現損益	35,623	27,059	8,564
為替換算調整額	△ 27,596	△ 52,620	25,024
年金負債調整額	△ 97,287	△ 98,459	1,172
デリバティブ未実現損益	1,528	△ 205	1,733

## (2) 四半期連結損益計算書

科目	期別	平成26年3月期第1四半期		平成25年3月期第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月30日		自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 6月30日		増減額	増減率
売上高		%		%			
売上高			479,066		430,426	48,640	11.3
レンタル収入			89,676		87,914	1,762	2.0
		100.0	568,742	100.0	518,340	50,402	9.7
売上原価							
売上原価			309,030		275,970	33,060	12.0
レンタル原価			39,163		37,127	2,036	5.5
		61.2	348,193	60.4	313,097	35,096	11.2
売上総利益		38.8	220,549	39.6	205,243	15,306	7.5
営業費用							
販売費及び一般管理費		26.8	152,458	28.0	144,842	7,616	5.3
研究開発費		7.6	42,973	7.6	39,457	3,516	8.9
		34.4	195,431	35.6	184,299	11,132	6.0
営業利益		4.4	25,118	4.0	20,944	4,174	19.9
営業外収益及び費用(△)							
受取利息及び配当金			1,844		1,513	331	
支払利息			△ 895		△ 791	△ 104	
為替差損益・純額			4,302		△ 8,255	12,557	
その他損益・純額			△ 62		△ 59	△ 3	
		0.9	5,189	△ 1.4	△ 7,592	12,781	-
税金等調整前四半期純利益		5.3	30,307	2.6	13,352	16,955	127.0
法人税等		1.7	9,538	1.0	4,958	4,580	92.4
持分法による投資損益		△ 0.2	△ 1,228	△ 0.4	△ 2,242	1,014	-
四半期純利益		3.4	19,541	1.2	6,152	13,389	217.6
控除:非支配持分帰属損益		△ 0.8	△ 4,591	△ 0.7	△ 3,648	△ 943	-
当社株主帰属四半期純利益		2.6	14,950	0.5	2,504	12,446	497.0

## (3) 四半期連結包括利益計算書

科目	期別	平成26年3月期第1四半期	平成25年3月期第1四半期	増減
		自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月30日	自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 6月30日	(△は減少)
四半期純利益		19,541	6,152	13,389
その他の包括利益(△損失) ー税効果調整後				
有価証券未実現損益変動額		8,556	△ 6,702	15,258
為替換算調整額		25,410	△ 26,803	52,213
年金負債調整額		1,410	1,023	387
デリバティブ未実現損益変動額		1,773	△ 24	1,797
その他の包括利益(△損失)合計		37,149	△ 32,506	69,655
四半期包括利益(△損失)		56,690	△ 26,354	83,044
控除:非支配持分帰属四半期包括損益		△ 5,247	△ 1,285	△ 3,962
当社株主帰属四半期包括利益(△損失)		51,443	△ 27,639	79,082

## (4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位 百万円

科目	期別	平成26年3月期第1四半期	平成25年3月期第1四半期	増減 (△は減少)
		自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月30日	自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 6月30日	
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 四半期純利益		19,541	6,152	13,389
2. 営業活動により増加した純キャッシュへの調整				
(1) 減価償却費		33,379	33,567	△ 188
(2) 持分法による投資損益(受取配当金控除後)		1,480	2,569	△ 1,089
(3) 資産及び負債の増減				
受取債権の減少		44,153	57,759	△ 13,606
棚卸資産の増加		△ 11,252	△ 26,187	14,935
営業債務の減少		△ 3,645	△ 18,322	14,677
未払法人税等及びその他負債の増加		20,138	16,368	3,770
(4) その他		△ 12,117	△ 2,450	△ 9,667
小計		72,136	63,304	8,832
営業活動によるキャッシュ・フロー		91,677	69,456	22,221
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形固定資産の購入		△ 19,624	△ 21,744	2,120
2. ソフトウェアの購入		△ 4,815	△ 3,622	△ 1,193
3. 有価証券・投資有価証券等の売却・満期償還		3,151	6,070	△ 2,919
4. 有価証券・投資有価証券等の購入		△ 2,271	△ 512	△ 1,759
5. 関係会社投融資及びその他貸付金の増加		△ 1,950	△ 3,350	1,400
6. 事業買収に伴う支出 (買収資産に含まれる現金及び現金同等物控除後)		-	△ 1,899	1,899
7. その他		△ 5,768	△ 7,911	2,143
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 31,277	△ 32,968	1,691
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 長期債務による調達額		840	632	208
2. 長期債務の返済額		△ 216	△ 13,664	13,448
3. 短期債務の増加(純額)		160	17,787	△ 17,627
4. 親会社による配当金支払額		△ 9,637	△ 8,430	△ 1,207
5. 非支配持分への配当金支払額		△ 3,199	△ 2,373	△ 826
6. 自己株式の取得(純額)		△ 3	△ 1	△ 2
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 12,055	△ 6,049	△ 6,006
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響		6,962	△ 7,073	14,035
V. 現金及び現金同等物純増加		55,307	23,366	31,941
VI. 現金及び現金同等物期首残高		445,394	235,104	210,290
VII. 現金及び現金同等物四半期末残高		500,701	258,470	242,231

## (5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## ①事業別セグメント情報

## 【売上高】

単位 百万円

科目	期別	平成26年3月期第1四半期		平成25年3月期第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月30日		自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 6月30日		増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
イメージングソリューション :							
外部顧客に対するもの		15.1	86,011	16.4	85,226	785	0.9
セグメント間取引			322		304	18	-
計			86,333		85,530	803	0.9
インフォメーションソリューション :							
外部顧客に対するもの		38.2	217,441	36.7	190,180	27,261	14.3
セグメント間取引			271		333	△ 62	-
計			217,712		190,513	27,199	14.3
ドキュメントソリューション :							
外部顧客に対するもの		46.7	265,290	46.9	242,934	22,356	9.2
セグメント間取引			2,290		2,333	△ 43	-
計			267,580		245,267	22,313	9.1
セグメント間取引消去			△ 2,883		△ 2,970	87	-
連結 合計		100.0	568,742	100.0	518,340	50,402	9.7

## 【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	平成26年3月期第1四半期		平成25年3月期第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月30日		自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 6月30日		増減額	増減率
営業利益(△損失) :		%		%			%
イメージングソリューション		△ 1.1	△ 921	2.9	2,476	△ 3,397	-
インフォメーションソリューション		5.3	11,539	3.9	7,366	4,173	56.7
ドキュメントソリューション		8.1	21,692	7.8	19,113	2,579	13.5
計			32,310		28,955	3,355	11.6
全社費用及びセグメント間取引消去			△ 7,192		△ 8,011	819	-
連結 合計		4.4	25,118	4.0	20,944	4,174	19.9

(注) 平成26年3月期第1四半期より、組織変更に伴い光学デバイスをインフォメーションソリューションからイメージングソリューションへ変更しております。この変更に伴い、前年同期実績を修正再表示しております。

(注) 各区分に属する主要な製品の名称

イメージングソリューション : カラーフィルム、デジタルカメラ、光学デバイス、フォトフィニッシング機器、写真プリント用カラーペーパー・薬品・サービス等

インフォメーションソリューション : メディカルシステム機材、ライフサイエンス製品、医薬品、グラフィックシステム機材、フラットパネルディスプレイ材料、記録メディア、電子材料

ドキュメントソリューション : オフィス用複写機・複合機、プリンター、プロダクションサービス関連商品、オフィスサービス、用紙、消耗品等

## ②所在地別セグメント情報

## 【売上高】

単位 百万円

科目	期別	平成26年3月期第1四半期		平成25年3月期第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月30日		自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 6月30日		増減額	増減率
売上高：		%		%			%
日本							
外部顧客に対するもの		53.2	302,745	56.8	294,412	8,333	2.8
セグメント間取引			96,443		100,134	△ 3,691	-
計			399,188		394,546	4,642	1.2
米州							
外部顧客に対するもの		15.8	89,766	15.5	80,460	9,306	11.6
セグメント間取引			10,447		8,681	1,766	-
計			100,213		89,141	11,072	12.4
欧州							
外部顧客に対するもの		9.5	53,962	9.5	49,443	4,519	9.1
セグメント間取引			4,668		4,147	521	-
計			58,630		53,590	5,040	9.4
アジア及びその他							
外部顧客に対するもの		21.5	122,269	18.2	94,025	28,244	30.0
セグメント間取引			85,812		70,895	14,917	-
計			208,081		164,920	43,161	26.2
セグメント間取引消去			△ 197,370		△ 183,857	△ 13,513	-
連結 合計		100.0	568,742	100.0	518,340	50,402	9.7

## 【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	平成26年3月期第1四半期		平成25年3月期第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月30日		自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 6月30日		増減額	増減率
営業利益(△損失)：		%		%			%
日本		3.9	15,573	2.9	11,316	4,257	37.6
米州		1.4	1,377	1.7	1,471	△ 94	△ 6.4
欧州		△ 2.2	△ 1,290	△ 0.8	△ 433	△ 857	-
アジア及びその他		5.5	11,471	3.9	6,418	5,053	78.7
セグメント間取引消去			△ 2,013		2,172	△ 4,185	-
連結 合計		4.4	25,118	4.0	20,944	4,174	19.9

## 【海外売上高(仕向地ベース)】

単位 百万円

科目	期別	平成26年3月期第1四半期		平成25年3月期第1四半期		増減 (△は減少)	
		自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月 30日		自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 6月 30日		増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
国内		41.1	233,830	44.1	228,428	5,402	2.4
海外							
米州		18.2	103,723	18.1	93,793	9,930	10.6
欧州		12.0	68,268	12.0	62,322	5,946	9.5
アジア及びその他		28.7	162,921	25.8	133,797	29,124	21.8
計		58.9	334,912	55.9	289,912	45,000	15.5
連結 合計		100.0	568,742	100.0	518,340	50,402	9.7

(注)【海外売上高(仕向地ベース)】は、取引先の所在地により区分し、表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。